

Slackの運用ルール

gumi Inc.
Information System
2019年6月1日



用語



ワークスペース(Workspace)

チャンネル(Channel)

メンバー(Member)

トピック(Topic)

パブリックチャンネル(Public Channel)

プライベートチャンネル(Private Channel)

共有チャンネル(Shared Channel)

ダイレクトメッセージ(Direct Message)

グループDM(Group Direct Message)

絵文字(emoji)

サインイン方法

- * メンバー

シングルサインオンサービス(SSO)を使ってG Suiteアカウントでサインインする

- * ゲスト

2要素認証を必須としemailアドレスとパスワードを使って直接Slackにサインインする

氏名 (Full name)のルール

- * 氏名(Full name)は本名を記載する
- * 自身で編集可能だが変更禁止とする

チャンネルのルール

- * チャンネルの作成
 - * プライベートチャンネルはメンバー全員が作成可能(ゲストを除く)
 - * パブリックチャンネルは管理者のみ作成可能
- * チャンネルの命名規則
 - * チャンネル名の先頭に、部門名またはプロジェクト名を必ず付与する
(例: is-intra, abc-デバッグ, efg-engineer などのように統一する)
※同じグループのメンバーが容易にチャンネル検索ができるようにするため
 - * アプリのタイトル名を付けない
※社外秘のプロジェクトを部外者に知られないようにするため
 - * ゲストが参加するチャンネルには、最後に” -ex “を付ける
(例: is-intra-ex, abc-デバッグ-ex, efg-engineer-ex など)
- * チャンネル名の条件
 - * 21文字以内
 - * 日本語、英小文字、数字、ハイフン (-)、アンダースコア (_) が使える
※スペースやピリオドは入力できない

共有チャンネル

- * ゲスト以外のメンバーは共有チャンネルの作成が可能
- * 複数のワークスペースをまたぐチャンネルが必要な場合は、共有チャンネルを利用する
- * 必要な範囲のワークスペースでのみ共有チャンネルを作成する

メッセージのルール

- * メッセージは投稿後5分以内は編集を許可する
- * 誰でも自分のメッセージを削除することができる

ユーザー種別

- * ワークスペースのオーナー
HQのInformation Systemメンバー
- * ワークスペースの管理者
各国のシステム管理者
- * メンバー
gumiグループの社員及び、gumiグループドメインのメールアドレスを
発行しているパートナー
- * シングルチャネルゲスト
単一のチャンネルに参加が必要なメンバー以外のパートナー
- * マルチチャンネルゲスト
複数のチャンネルに参加が必要なメンバー以外のパートナー

おやすみモード

- * Workspace管理者が実情に合わせて、Workspace単位で初期値を設定する。また、メンバーが各々に自由に設定が可能

注意事項

- * 情報漏洩や、コンプライアンス違反とならないよう発言内容に注意する
- * 特にゲストのいるチャンネルで社外秘となる情報を発言しない
- * チャンネル内では下記の情報をやり取りしない
 - * プロジェクトの売上や、リリース時期などの機密情報
 - * 機密情報を入ったファイルの添付
 - * IDやパスワードの情報
 - * 個人情報
 - * 他人を誹謗、中傷する発言
 - * 著作権を侵害する恐れがあるもの

ルールの改定

- * 本ルールは、必要に応じて随時変更される
- * ルールの変更にあたっては、業務の効率化と同等にセキュリティ確保を重要とする